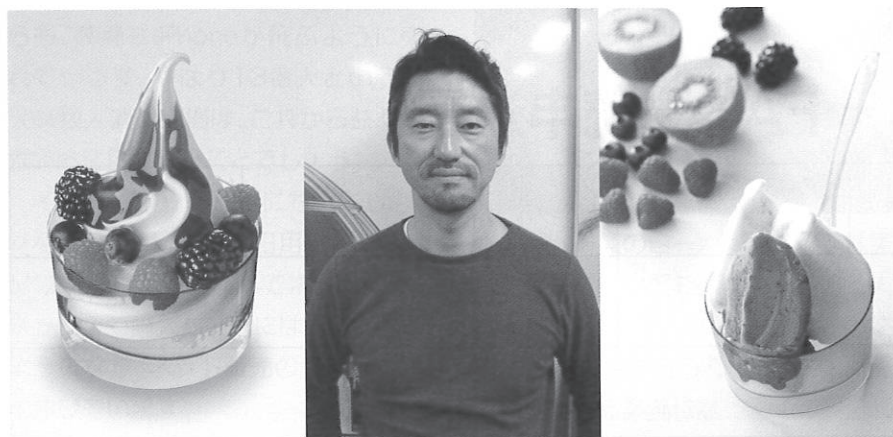


会員紹介

ITALYO JAPAN株式会社

美味しいヘルシージェラート『ヨゴリーノ』 日本経由のイタリアンドルチェをアジア展開へ



■イタリアで瞬く間に 200 店舗

イタリア発のヨーグルトジェラート『yogorino (ヨゴリーノ)』(以下『ヨゴリーノ』)は、甘くて美味しいだけではない「低脂肪・低カロリーのヘルシーなジェラート」をコンセプトとして創業者エンリコ・バルボ氏が作った、新しいイタリアンドルチェのブランドだ。チェーン展開が難しいといわれるイタリアの北部都市ヴェローナで1993年に創業し、瞬く間に国内200店舗を展開。現在、世界35カ国で約600店舗を展開するスイーツの代表的ブランドに成長している。ヨーグルトジェラートの先駆者というだけでなく、ライセンス展開できるシンプルな仕組み作りにも成功したことで圧倒的なブランド力を築いてきた。

『ヨゴリーノ』の一番の特徴は、自然な甘みとすっきりとした酸味の美味しさ、そして低脂肪・低カロリーというヘルシーさだ。ヘルシーと聞いて「味を犠牲にしているのでは？」と疑うな

ら、まず一口食べてみてほしい。ジェラート好きもヨーグルト好きも満足させるリッチな味とすっきりさわやかな食感、過去のヘルシー系食品には稀にしかなかったものだ。

■日本第2位のチェーンに成長

日本での『ヨゴリーノ』事業が本格的に始まったのは2005年。ライセンスの展開は、(株)東京フード(ぼてぢゅうグループ)の関連会社で昨年度からアジアフードビジネス協会の会員となったITALYO JAPAN株式会社が手掛ける。2011年にはエリアライセンス制度を設け、これまで関東、中国、四国、九州の4地区にエリア本部を設置。2014年4月末時点の出店状況は1都1府15県で合計38店舗。アイスクリーム・ジェラート類のブランドとしては国内第2位の規模まで成長した。

出店スピードは年間10店舗ほど。物件、ライセンスともに条件が揃わ

《会員情報》

ITALYO JAPAN 株式会社
代表取締役：田邊 圭介
所在地：東京都目黒区東山 1-4-13
ASA 東山ビル 5F
TEL：03-5721-3861
FAX：03-5721-3876

事業内容：イタリアンジェラート
“yogorino (ヨゴリーノ)”の日本国内におけるマスターライセンス(総代理店)として、エリアライセンスおよび加盟店に対する管理・運営をサポート。加盟店に対する原材料および資材各種を販売。

なければ出店を急がない。寒暖の影響を受けないショッピングモールを中心に展開を進めている。

日本でのアイスクリーム・ジェラート類の事業展開の難しさは、多くの海外ブランドが進出しては失敗した過去を見てもよく分かる。ジェラート文化が根付いているイタリアとはちがい、四季の変動で需要が大きく変わるため、路面店の展開は厳しいのが現実。

そんななか、日本で『ヨゴリーノ』が広がりつつあるのは、まずはヨーグルトジェラートという商品の独自性。健康志向の消費者が増えるトレンドのなかで、「甘くて美味しい、なのにヘルシー」という事実が、従来のスイーツ感覚にプラスイメージを与えている。

洗練されたビジネスパッケージの存在も大きい。メニューは『ヨゴリーノ』をベースにカットフルーツやチョコレートなどトッピングを加えるシンプルなもの。イタリア本国から輸入するパウダー原料と低脂肪の牛乳をソフトクリームマシンに入れて作るため難しい技術も必要ない。さらに、パウダー原料を常温保存できる点が、ほかのアイスクリーム・ジェラート業態にはない大きな強みだ。



■日本ローカライズの質

それに加えて、日本ではパンケーキやクレープといった独自メニューの開発も手掛ける。季節変動や「ヘルシー」というキーワードに引っかからない若年層の取り込みにも対応するため。イタリアから見れば、日本ローカライズの動きと言える。後に触れるアジア展開では、この日本ローカライズこそが武器になり得る。

おそらく、イタリア本国はそんな日本の強みをよく心得ている。これまでも、パンケーキやクレープなどの日本発メニューがイタリアでも採用されたり、現在、世界中で目に留まる『ヨゴリーノ』のロゴが、実はなんと日本でデザインされたものだったり、日本ローカライズの質が受け入れられてきた。イタリアから日本へ『ヨゴリーノ』を紹介したITALYO JAPANの田邊圭介社長が創業者家族から勝ち取った信頼の大きさも裏打ちしている。

■「ヘルシー」で富裕層ターゲット

ITALYO JAPANは日本だけでなくアジア全域でのライセンス展開をイタリア本社から任されており、現在、アジア展開にむけて準備を進めている。既にパートナー候補との交渉を進めている国もあり、今後も出来るだけ多くの候補と商談を持った上で、進出先を決めていく考えだ。「スイーツ」、「フルーツ」、そして「ヘルシー」というキーワードからは、東南アジアの高級ショッピングモールの富裕層ターゲット路線が思い浮かぶ。現地での展開の際には、イタリアンドルチェとしてのイメージだけでなく、日本ローカライズによるセンスの洗練が必ず役に立つはずだ。

イタリア本国のライセンス展開により、中東のドバイ、レバノン、サウジアラビアなどでは既に出店が加速しているという。世界ではブランドの知名度も高く、噂を聞いて『ヨゴリーノ』の出店を待ち望んでいる消費者も各国にいるだろう。日本からアジアへの出店が実現する日も、そう遠くないにちがいない。



一般財団法人
アジアフードビジネス協会

第3回総会を 開催致します

日時：5月28日(水)
＜総会・講演＞ ＜交流会＞
16:00～17:40 17:50～19:30

特別講演

グローバル時代の 共有価値創造戦略

～食とお茶で笑顔の OMOTENSHI ～

講師：(株)伊藤園

取締役CSR推進部長 笹谷 秀光氏

海外展開時に必須である国際標準の社会的責任、ダイバーシティ配慮、グローバル人材の育成などの要素に加え、「OMOTENASHI」を重視する日本企業がグローバル時代に打ち出すべき共有価値創造戦略とは一。30年余にわたる農林水産省での行政・海外勤務・国際交渉経験を踏まえて幅広く活躍される(株)伊藤園 取締役 笹谷氏の必聴講演です！

一般財団法人アジアフードビジネス協会
第3回総会 開催概要

【日時】 5月28日(水) (受付15:00～)
16:00～19:30 (総会・講演、交流会)
【会場】 日本外国特派員協会
東京都千代田区有楽町1-7-1
有楽町電気ビル 北館20階
【会費】 会員／8,000円
非会員／12,000円
【お申込】 WEB上のお申込み専用フォームよりお申込み下さい。
<http://asiafood.jp/seminor/index.html#event1405>
【締切】 5月16日(金) ※但し、定員(160名)になり次第、お申込み終了となります。
【お支払方法】 ご請求書をお送りしますので、お振込みをお願いいたします。
※スケジュール・内容は、講師の都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。
【お問い合わせ】 TEL:03-6380-9377
(財)アジアフードビジネス協会事務局
<http://asiafood.jp>
Mail: info@asiafood.jp